

教育委員会の取組 (下妻市教育委員会)

分類	①
見出し	教頭や教務主任等による授業
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教頭や教務主任等が主で授業を受け持つ。 ・教頭や教務主任等がそれぞれの専門教科の授業を担当する。
導入の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・担任の空き時間が増え事務処理の時間に充てることができている。 (学校によっては週4時間の空き時間を確保) ・空き時間を利用して各種会議を開くことができている。
課題・対応	<ul style="list-style-type: none"> ・教頭や教務主任等に急な対応業務が入ってしまったたり、急な来校者があつたりして、授業に出られなくなった場合には、担任が授業を行う。 ・職員の出張や年休等が重なり、填補者がいない場合に対応しなくてはならない状況が生じる場合があり、調整が必要となる。
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の専門性を生かした校内専科を実施するに当たり、教頭や教務主任と教科が重なるような場合には、担当学年を考慮する必要がある。 ・教頭や教務主任の出張や対外的な業務予定を確認し、時間割の調整をする必要がある。

教育委員会の取組 (下妻市教育委員会)

分類	①
見出し	2学期制の導入
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期制を導入することにより、授業時数を確保する。 ・成績処理や通知票の作成・配布を年間2回とする。
導入の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の通知票の配付が10月上旬、2学期の配布が3月になるため、長期休業前の慌ただしさが減り、児童生徒に向き合う時間が増えた。 ・1学期の成績処理や通知票作成が夏季休業中に進めることができるため、時間に余裕をもって作成することができた。
課題・対応	<ul style="list-style-type: none"> ・年間2回の成績処理となるため、中学校においては、中間・期末テストの実施回数が減るが、単元テスト等を活用して、信頼性のある成績処理に結び付けている。
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業前の通知票の配布がなくなったため、保護者が7月までの学習や生活の様子を把握できるよう、また、児童生徒が夏休みを有意義に過ごせるよう、夏季休業中に二者面談や三者面談を実施する。 ・夏季休業中に成績処理や通知表の作成を進めるが、9月の学習の様子を確認し、適した評価や通知票となるよう見直しを行うことが必要である。

教育委員会の取組 (下妻市教育委員会)

分類	③
見出し	学校安全環境整備員の配置
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎内の危険箇所や破損箇所の修繕 ・校庭の樹木の伐採や草刈り等
導入の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所等の修繕を学校安全環境整備員が行うため、教職員の負担軽減につながっている。 ・教頭が行っていた校庭の樹木の伐採や草刈り等が削減されるため、事務処理等の時間に充てることができている。
課題・対応	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所等の早期発見に努め、気付いた時点で学校安全環境整備員に連絡することが必要である。 ・校庭の草刈り等において、季節により学校安全環境整備員のみでは処理が困難な場合には、教頭をはじめ教職員で作業を行う。
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・市雇用になるため、人件費の確保が必要である。 ・学校安全環境整備員に任せきりにするのではなく、必要があれば教職員と一緒に作業するなど協力体制が必要である。